2024/5/20（2026/5/21更新）

日本シェアリングネイチャー協会　人材育成計画

日本シェアリングネイチャー協会は〝「自然が好き」で世界を変える〟をビジョンとし、『人が自然を尊重し共生していく社会』の実現を目指します。ネイチャーゲームをはじめとするシェアリングネイチャー活動を通して、自然に親しみ、自然から学び、自然をわかちあうことによって、豊かな人生を生きる人を増やすことにより、人と自然のより良い関係を築く要となる「自然が好き」を広げていきます。

このビジョン達成に向けて、資格ごとのミッション・役割・求められることを明示（下記参照）するとともに、別紙「人材育成目標」に掲げる2030年度末目標人数の達成に向けて、全国のネイチャーゲーム指導員およびシェアリングネイチャー組織、また応援いただける多くの方ととも、社会や人々に働きかけていきます。

資格	ミッション	役割（規程）	求められること （アクション＋期待）	求められる能力 （理論・技術・心がまえ）
リーダー	ネイチャーゲームで自然と人をつなぐ（人）	ネイチャーゲーム活動を通して、子どもや大人を自然の中へ案内します	自身が「自然が好き」という思いの上に、自然案内人として実践を通し、「自然が好き」を広げる。そのための学びと研鑽を重ね、SNへの理解を深めること。	ネイチャーゲーム指導員はネイチャーゲームをはじめとするシェアリングネイチャー活動の実践・シェアリングネイチャーの考え方の体現を通して、「自然が好き」を広げ、「人が自然を尊重し共生していく社会の創造」を目指す。 詳細はチェックリスト参照
コーディ	「自然が好き」を広げるための実践、交流、協働の場の創造と活性化をする（人）	ネイチャーゲームの理念・手法・ネットワークを活用した活動を通して、人と人とをつなぎます	シェアリングネイチャー活動の実践と交流の場づくりを通して、「自然が好き」を広げる。そのために社会のニーズをとらえ、人と人とのつなぎ手として情報発信と協働を促進し、地域内外の仲間の活性化を行うこと。	
イントラ	ネイチャーゲームを探求し学びを共有する（人）	ネイチャーゲームの理念や技術の探求および講師活動を通して、ネイチャーゲームの普及を行います	ネイチャーゲームの理念や技術を探求し、常に学び、相互に高め合うこと、およびネイチャーゲーム講師活動を通して、多くの人に「自然が好き」を広げる。そのために、自然への気づきについて深く理解する熱意を持つこと。	
トレーナー	人や社会に対し、ネイチャーゲームやシェアリングネイチャーの必要性を伝える人を育てる（人）	ネイチャーゲームの指導者養成・公認研修における講師活動およびさまざまな会員支援を通して、人材育成を行います	日本におけるシェアリングネイチャーの普及および指導員の活性化、シェアリングネイチャー組織への貢献に取り組む。そのためにシェアリングネイチャーの普及の中核となること。	
ガイド	シェアリングネイチャーウェルネスを実践し、広める（人）	シェアリングネイチャーウェルネスにより、自然を通して心と体の健康を感じられる人を育てます	日常においてシェアリングネイチャーウェルネスを実践することはもちろんのこと、身近な自然に目を向け、今この瞬間を意識することで、よろこび、愛、思いやりを感じられる素晴らしさを周りの人に伝える。	

付属資料　人材育成目標
ネイチャーゲーム指導員に求められること（通称チェックリスト）

日本シェアリングネイチャー協会　人材育成目標

「自然が好き」を広げるための人材育成目標人数

指導者資格	2023年度末（人）	2030年度末目標（人）	目標人数の考え方	目標達成のための取り組み（例）
リーダー	6548	7200	［養　成］ 1000名/年　※純増加人数100名/年 ［考え方］ ・コロナ前の人数に戻す。 ・目指す数字としては「全都道府県での開催」が第一です。 ・目指すべき全体目標人数は7,600人（更新率87％・養成人数1000名での限界値） ・都道府県協会ごとに理想とする目標人数と、現状とのギャップから、養成などの取り組みを検討してもらえるよう呼びかけています。	リーダー資格取得への関心を高める情報発信強化 □分野別PRの強化 □都道府県SN協会との連携による情報発信の強化 □会員との連携による情報発信の強化 □他団体と連携した情報発信の強化 □教材制作による活動支援 資格取得後のアフターフォローの強化と見える化 □チェックリストに連動した研修の再整理と情報提供 □指導員のための情報発信や専用ツール提供の強化 SN組織・サークル・ネイチャーゲーム指導員が活躍する団体の支援強化と見える化 □地域実践活動団体支援（継続） □サークル活動の支援（継続） □ネイチャーゲーム認定園の推進と情報公開 □ネイチャーゲーム体験施設情報の発信
トレーナー	35	35	［養　成］2～3名/年 ［考え方］新リーダーの養成と、研修機会の創出、会員支援のため30名以上を維持する	一人ひとりがいきいきと活動し、挑戦できる環境づくり □研修機会の充実 □組織・会員との協同で進める活躍の場づくり □多様な考え方、取り組みを認めあう土壌をつくる □チェックリストを活かしたステップアップの提示
講座講師	65	100	［養　成］6名/年 ［考え方］各都道府県におけるトレーナー養成の要として1名以上いることが望ましい	
インストラクター	233	360	［養　成］10名/年　※ブロックごとの開催を呼びかける ［考え方］ネイチャーゲームの理念や技術の探求と、講師活動を通した普及のため、全国各地にインストラクターがいることが重要であることから、リーダー人数あたり5％以上を目指し担い手の養成を支援する	
コーディネーター	294	331	［養　成］当面目標は24名/年 ［考え方］実践、交流、協働の場の創造と活性化の要となるシェアリングネイチャー活動の実践と交流の場づくりにおいて、コーディネーターとしての役割が意識されること、実践されることが重要であることから、各都道府県協会に3名以上、各地域の会に1名以上の配置が望ましい（141名＋190名＝331名）	
ウェルネスガイド	122 2026.2.12時点 （2026.2.1登録の8名を含む）	200	［養　成］当面目標は20名/年 ［考え方］継続的な養成を続けていくことにより、多くのネイチャーゲーム指導員が日常においてシェアリングネイチャーウェルネスを実践し、自然を通して心と体の健康を感じられる人を増やす。	日常におけるシェアリングネイチャーウェルネスを実践できる環境づくり □研修機会の充実 □日常における実践を促す情報発信 □チェックリストを活かしたステップアップの提示

※SNの推進力の維持・向上のため「寄付サポーター制度」を導入（1口3000円の定期の年額寄付／サポーター証とバッチを送付・一般向け講演や情報誌発行情報を発信）

ネイチャーゲーム指導員に求められること（チェックリスト）

2016/12/4（2026.2.19改訂）

ネイチャーゲーム指導員はネイチャーゲーム・シェアリングネイチャーの実践と体現を通して、「自然が好き」を広げ、「人が自然を尊重し共生していく社会の創造」を目指す人である。

領域		チェックリスト項目 ○が付いている項目が、各資格において持っていることが望ましいものです。持っていなければ資格を取得できないというものではありません。ステップアップや理想を目指す上での参考としてください。		L	C	I	K	T	G	目標と課題 この欄はご自身のメモや講師間の共有の際にご利用ください
1	**シェアリングネイチャーの理解** シェアリングネイチャーを理解し、それを体現している	1-1	□書籍『シェアリングネイチャー』の内容を読み込み、理解に努めている	○	○	○	○	○	○	
		1-2	□「シェアリングネイチャー」「自然への気づき」「わかちあい」「フローラーニング」に ついて、自分の体験をもとに説明できる			○	○	○		
		1-3	□「自然との一体感」について自分の体験を話せる			○	○	○	○	
2	**ネイチャーゲーム*の指導力** **参加者の心身の状態とフィールドの状況に応じて、ネイチャーゲーム*を実践し、自然の魅力を伝えることができる** ***シェアリングネイチャーウェルネスを含む**	2-1	□フローラーニングを意識してアクティビティを指導できる	○		○	○	○	○	
		2-2	□HB掲載のアクティビティを正しく理解し、標準的な手順に従って指導できる			○	○	○		
		2-3	□「わかちあい」のための5つポイント(「教えるよりもわかちあおう」「受け身（受容的）になろう」「チャンスを逃さないで」「体験第一、解説はあとで」「楽しさは学ぶ力」)を実践している	○		○	○	○	○	
		2-4	【指導者の養成及び研修において】与えられた条件とフローラーニングを意識してリーダー養成講座等のプログラムを作成できる					○		
3	**知識と技能** **自然の理解、安全対策、環境教育、体験学習などネイチャーゲームに必要な知識と技能を持っている**	3-1	□体験学習法について理解している(『リーダーハンドブック理論編』P43参照)			○	○	○		
		3-2	□自然に対してミニマムインパクトで行動し、参加者にも指導できる。	○	○	○	○	○	○	
		3-3	□ネイチャーゲームおよび自然・環境・環境教育に関することを学び続ける姿勢がある。	○	○	○	○	○	○	
		3-4	□救急法の資格を所持し、過去の事故事例も把握した上で、安全を配慮し、危険を回避した活動ができる。	○	○	○	○	○	○	
		3-5	□【講習において】参加者のネイチャーゲーム体験をふまえ、具体的な事例を含めながら講義できる。			○	○	○		
4	**コミュニケーション力** **指導的な役割の中でも、日常会話や講義などの際に適切なコミュニケーションがとれる**	4-1	□相手の立場や感情を尊重した態度を保ちつつ、必要な自己主張ができる。	○	○	○	○	○	○	
		4-2	□【講習において】講師同士(主任講師-講座講師)をはじめ関係者に対する意見は、直接本人に建設的に伝えることかできる。				○	○		
		4-3	□評価やコメントを建設的に受け止め、改善を試みる心構えがある。	○	○	○	○	○	○	
5	**マネジメント力** ~~講座の~~人間関係や時間管理、危機管理が可能であり、日常的にも組織に貢献できる	5-1	□日本協会・都道府県協会・地域の会・課程認定校研究会などとの関係をより密にし、普及の担い手となる心構えがある。		○	○	○	○	○	
		5-2	□【講習において】日本シェアリングネイチャー協会の立場でメッセージを伝える場であることを理解している。		○	○	○	○		
		5-3	□【講習において】講座の関係者と適切な連絡をとりあい、信頼関係をつくることができる。		○	○	○	○		
		5-4	□十分な事務能力を持っている。		○		○	○		
		5-5	□日本協会・都道府県協会・地域の会・課程認定校研究会いずれかの組織活動に具体的に貢献している。		○		○	○		
		5-6	□事業実施および組織運営など必要な場面においてシェアリングネイチャーの場のリスクマネジメントを担うことができる。また最新情報を入手し学びを続けている。		○		○	○		
6	**自然との調和・人間的魅力** 豊かな自然体験を持ち、自然と調和したより魅力的な人間になりたいという生き方をしている	6-1	□「自然が先生」という姿勢を心がけている。	○	○	○	○	○	○	
		6-2	□受容的・共感的な姿勢を持ち、おだやかで心のこもったやり取りができる。	○	○	○	○	○	○	
		6-3	□日常の中で自然とふれあうことを大切にし、今、この瞬間を感じる機会をもっている		○	○	○	○	○	
		6-4	□常に向上心を持って生活している		○	○	○	○	○	
		6-5	□自身の興味関心や活動分野を活かし、指導員の交流・研鑽の場に積極的に参画している。		○	○	○	○	○	
		7-1	□その他							

※L：ネイチャーゲームリーダー　C：同コーディネーター　I：同インストラクター　K：講座講師　T：ネイチャーゲームトレーナー　G：シェアリングネイチャーウェルネスガイド

本リストは定期的に3年ごと目処に見直すものとする（次回2029年春に変更）